

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月23日

上場取引所 東

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,406	5.9	△36	—	△23	—	△21	—
25年3月期第1四半期	4,160	△24.3	△18	—	△3	—	△12	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	△12.86	—
25年3月期第1四半期	△7.44	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭	円銭	
26年3月期第1四半期	9,439	—	3,171	—	33.6	—	1,861.51	
25年3月期	9,277	—	3,193	—	34.4	—	1,874.32	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,171百万円 25年3月期 3,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	10.00	—	0.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	23.00	23.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	8,440	7.2	0	—	0	—	△6	—	△3.52
通期	17,300	8.1	204	—	200	—	129	—	75.71

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	1,704,267 株	25年3月期	1,704,267 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	348 株	25年3月期	348 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	1,703,919 株	25年3月期1Q	1,703,987 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は売上高4,406,885千円（対前年同期比5.9%増）、営業損失36,588千円（前年同四半期は営業損失18,711千円）、経常損失23,461千円（前年同四半期は経常損失3,937千円）、四半期純損失21,907千円（前年同四半期は四半期純損失12,674千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### (電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は1,144,558千円（対前年同期比2.5%減）となりました。これまで市場を牽引してきたスマートフォンやタブレット端末関連がスローダウンの様相を見せており、前事業年度第4四半期以降続いている生産調整も回復には至らず、厳しい事業環境が続いています。営業活動の強化による新規アイテムの獲得、研究開発体制の見直しなど事業全般にわたって収益改善を図っておりますが、効果が出るまでにはしばらく時間を要する見込みであり、セグメント損失は35,892千円（前年同四半期はセグメント損失13,542千円）となりました。

#### (電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、売上高は3,262,326千円（対前年同期比9.2%増）となりました。建設・電販向けなど従来からの主力製品に加え、平角・異型線や非電線分野への拡販にも注力しました。一方で原価低減・経費削減の取組みも継続しており、セグメント利益は12,430千円（対前年同期比29.4%増）となりました。

#### 売上高

単位（千円）

	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	1,174,070	28.2%	1,144,558	26.0%	△2.5%
電気機能線材事業	2,986,363	71.8%	3,262,326	74.0%	9.2%
合計	4,160,434	100.0%	4,406,885	100.0%	5.9%

#### 加工売上高

単位（千円）

	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	518,112	70.8%	518,844	70.3%	0.1%
電気機能線材事業	213,752	29.2%	219,554	29.7%	2.7%
合計	731,865	100.0%	738,399	100.0%	0.9%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (貸借対照表の状況)

総資産は9,439,320千円となり、前事業年度末に比べ161,433千円増加しました。これは受取手形及び売掛金の増加383,081千円のほか、現金及び預金が206,219千円、有形固定資産が94,405千円それぞれ減少したことなどによるものです。負債合計は6,267,458千円となり、前事業年度末に比べ183,269千円増加しました。これは買掛金の増加329,922千円のほか、借入金が112,480千円減少したことなどによるものです。

純資産は3,171,862千円となり、前事業年度末に比べ21,835千円減少しました。これは、当四半期累計期間の四半期純損失を反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて206,219千円減少し、720,915千円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、44,377千円の支出(前年同四半期は205,844千円の収入)となりました。主な収入は減価償却費109,288千円、仕入債務の増加額329,922千円であり、主な支出は税引前四半期純損失の23,642千円、役員退職慰労引当金の減少額58,790千円及び売上債権の増加額383,081千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出54,991千円などにより45,291千円の支出(前年同四半期は49,238千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出112,480千円などにより116,551千円の支出(前年同四半期は238,665千円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内においては政府の経済施策により株価が回復し円高傾向が是正されるなど一部に景気回復の効果は出ていますが、世界的には中国の経済成長が鈍化するなど厳しい事業環境が続くものと予想されます。このような中、当社においては各種施策の取り組みと実行を通じて業績回復に努めてまいります。なお、既に公表している業績予想について変更はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	927,135	720,915
受取手形及び売掛金	3,861,463	4,244,544
仕掛品	250,868	264,761
原材料及び貯蔵品	273,573	276,149
繰延税金資産	64,470	69,041
その他	23,427	83,346
貸倒引当金	△6,508	△7,173
流動資産合計	5,394,429	5,651,586
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	868,265	847,977
機械及び装置（純額）	766,097	727,811
土地	1,863,981	1,863,981
建設仮勘定	74,811	34,797
その他（純額）	110,990	115,172
有形固定資産合計	3,684,146	3,589,740
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	21,218	21,629
繰延税金資産	157,772	156,613
その他	29,963	29,858
貸倒引当金	△20,462	△20,462
投資その他の資産合計	188,491	187,638
固定資産合計	3,883,456	3,787,734
資産合計	9,277,886	9,439,320

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,214,200	3,544,122
1年内返済予定の長期借入金	379,920	309,920
未払法人税等	7,327	3,587
その他	339,140	293,606
流動負債合計	3,940,589	4,151,236
固定負債		
長期借入金	1,724,408	1,681,928
退職給付引当金	360,401	357,897
役員退職慰労引当金	58,790	—
その他	—	76,395
固定負債合計	2,143,599	2,116,221
負債合計	6,084,188	6,267,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	1,682,603	1,660,696
自己株式	△820	△820
株主資本合計	3,196,403	3,174,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,705	△2,633
評価・換算差額等合計	△2,705	△2,633
純資産合計	3,193,697	3,171,862
負債純資産合計	9,277,886	9,439,320

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,160,434	4,406,885
売上原価	3,851,357	4,125,229
売上総利益	309,077	281,655
販売費及び一般管理費	327,789	318,243
営業損失(△)	△18,711	△36,588
営業外収益		
受取利息	4	—
受取配当金	470	366
助成金収入	13,862	7,334
スクラップ売却益	4,000	8,701
その他	1,823	1,547
営業外収益合計	20,162	17,950
営業外費用		
支払利息	4,147	3,143
売上割引	1,241	820
その他	—	859
営業外費用合計	5,388	4,823
経常損失(△)	△3,937	△23,461
特別利益		
固定資産売却益	761	—
特別利益合計	761	—
特別損失		
固定資産売却損	4,187	—
固定資産除却損	—	180
減損損失	6,929	—
特別損失合計	11,117	180
税引前四半期純損失(△)	△14,293	△23,642
法人税、住民税及び事業税	1,852	1,717
法人税等調整額	△3,471	△3,452
法人税等合計	△1,619	△1,735
四半期純損失(△)	△12,674	△21,907



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△14,293	△23,642
減価償却費	117,150	109,288
減損損失	6,929	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△49,273	△58,790
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,028	△2,503
貸倒引当金の増減額(△は減少)	73	664
受取利息及び受取配当金	△475	△366
支払利息	4,147	3,143
有形固定資産売却損益(△は益)	3,425	—
固定資産除却損	—	180
売上債権の増減額(△は増加)	△35,438	△383,081
たな卸資産の増減額(△は増加)	27,326	△16,468
仕入債務の増減額(△は減少)	215,101	329,922
その他	△8,305	3,709
小計	278,396	△37,943
利息及び配当金の受取額	475	366
利息の支払額	△4,109	△3,102
法人税等の支払額	△68,918	△3,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,844	△44,377
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△323	△300
有形固定資産の取得による支出	△52,097	△54,991
有形固定資産の売却による収入	1,060	10,000
その他	2,123	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,238	△45,291
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△117,484	△112,480
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,064	△4,064
自己株式の取得による支出	△70	—
配当金の支払額	△17,046	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238,665	△116,551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△82,058	△206,219
現金及び現金同等物の期首残高	844,648	927,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	762,589	720,915

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,174,070	2,986,363	4,160,434
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,174,070	2,986,363	4,160,434
セグメント利益又は損失 (△)	△13,542	9,604	△3,937

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の経常損失と一致しております。

2.セグメント利益又は損失(△)には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに計上又は配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失は6,929千円であります。

II 当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,144,558	3,262,326	4,406,885
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,144,558	3,262,326	4,406,885
セグメント利益又は損失 (△)	△35,892	12,430	△23,461

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の経常損失と一致しております。

2.セグメント利益又は損失(△)には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。